

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2028年3月15日まで（2020年1月24日設定）	
運用方針	AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド受益証券、AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券およびAMP オーストラリアREITマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの債券、株式および不動産投資信託証券等に投資を行います。なお、豪ドル預金または円預金等を活用することがあります。 債券、株式および不動産投資信託証券への資産配分比率は原則として40：20：20を維持することを基本とします。なお、資産配分比率は投資環境等に応じて見直すことがあります。投資環境の大幅な悪化が予想される場合には、株式および不動産投資信託証券の実質組入比率を引き下げ、投資リスクの抑制を図ります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。各マザーファンドの運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビード ファンド	AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド受益証券、AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券およびAMP オーストラリアREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	AMP オーストラリア・ ハイインカム債券 マザーファンド	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
	AMP オーストラリア 高配当株式 マザーファンド	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
	AMP オーストラリア REIT マザーファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	AMP オーストラリア・ ハイインカム債券 マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	AMP オーストラリア 高配当株式 マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	AMP オーストラリア REIT マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

オーストラリア好利回り 3資産バランス＜為替ヘッジあり＞ （年2回決算型）

愛称：実りの大地（ヘッジあり）



第4期（決算日：2021年9月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「オーストラリア好利回り3資産
 バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）」は、
 去る9月15日に第4期の決算を行いました。ここに
 謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い
 申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率						
(設定日)	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円
2020年1月24日	10,000	—	—	—	—	—	—	—	10
1期(2020年3月16日)	8,863	15	△11.2	32.2	—	35.8	0.3	15.1	27
2期(2020年9月15日)	8,883	70	1.0	35.7	—	37.7	△0.5	17.3	29
3期(2021年3月15日)	9,743	65	10.4	38.8	—	38.0	△1.2	18.7	35
4期(2021年9月15日)	10,503	55	8.4	37.3	—	36.8	△0.8	18.6	68

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率					
(期 首)	円	%	%	%	%	%	%
2021年3月15日	9,743	—	38.8	—	38.0	△1.2	18.7
3月末	9,841	1.0	39.0	—	37.5	△2.7	19.1
4月末	10,120	3.9	38.5	—	36.8	△1.2	18.6
5月末	10,174	4.4	38.6	—	36.5	△0.7	18.9
6月末	10,283	5.5	37.1	—	37.2	△1.8	18.4
7月末	10,416	6.9	38.4	—	36.3	△0.1	18.1
8月末	10,532	8.1	37.9	—	37.0	△0.1	18.6
(期 末)							
2021年9月15日	10,558	8.4	37.3	—	36.8	△0.8	18.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第4期：2021年3月16日～2021年9月15日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第4期首	9,743円
第4期末	10,503円
既払分配金	55円
騰落率	8.4%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ8.4% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

「AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド」、「AMP オーストラリアREITマザーファンド」の基準価額が上昇したことなどがプラス要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率 (対純資産総額)
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	-2.9%	38.5%
AMP オーストラリアREITマザーファンド	18.1%	18.9%
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	5.2%	38.7%

第4期：2021年3月16日～2021年9月15日

▶ 投資環境について

▶ 株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。
世界経済の回復期待やオーストラリア準備銀行（RBA）の低金利政策などを背景に上昇しました。また、オーストラリアの主要経済指標の一部が堅調に推移したことや一部の主要銘柄の決算発表が好調であったことなどもプラスとなりました。

▶ 債券市況

オーストラリアの社債市況は上昇しました。
債券市場では、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大を受けて、オーストラリア国内においてもロックダウン（都市封鎖）の期間延長や対象地域の拡大措置が実施され経済への悪影響が懸念されたこと等から、オーストラリアの金利は低下

しました。こうした環境下、オーストラリアの金利が低下したこと等がプラス要因となり、社債市況は上昇しました。

▶ オーストラリアREIT市況

オーストラリアREIT市況は上昇しました。

コロナ危機後の回復が株対比で緩慢だったこともあり、投資家心理が引き続き良好な中で当期間のリートは株式を上回る上昇となりました。不動産用途別では、店舗用の上昇が抑えられた一方、工業用は堅調に推移しました。ワクチン接種は進んでいるものの、新型コロナウイルスの変異株などによる感染拡大懸念が再び意識され、回復が期待された店舗用の上値を抑え、成長が期待される工業用が選好される展開となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>（年2回決算型）

債券、株式およびリートに対する資産配分比率は、40：40：20の基本資産配分比率を維持しました。

実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド

銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。

銘柄入替では、割安であり、中長期的に強固なキャッシュフローの成長が期待できると判断したことなどからWOOLWORTHS GROUP LTDなどを新規に組み入れました。一方で、利益を確定させるためARISTOCRAT LEISURE LTDなどを全株売却しました。

▶ AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。

豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。

また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。

デュレーションについては、2021年8月末時点において市場平均と比べて短めとしました。また、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れました。

▶ AMP オーストラリアREITマザーファンド

投資するREITについては、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される工業用の優良な物件を保有する銘柄に注目した運用を行いました。

当期は、工業用や各種・分散投資型などの投資比率を引き上げた一方、店舗用などの投資比率を引き下げました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2021年3月16日～2021年9月15日
当期分配金（対基準価額比率）	55 (0.521%)
当期の収益	55
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	671

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>（年2回決算型）

オーストラリアの債券、株式およびリートへ実質的な投資を行います。

債券、株式およびリートへの資産配分比率は、40：40：20を維持することを基本とします。なお、投資環境の悪化が予想される場合には、段階的に株式・リートの実質組入比率を引き下げ、豪ドル預金等の組入比率を引き上げ、投資リスクの抑制をはかる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド

引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。

▶ AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

オーストラリアでは、ハイ・イールド市場を含めた社債市場全体で見ると、デフォルト率は今後、経済回復に伴い低下することが見込まれます。また、商品価格

の上昇等が市場の上昇要因になると考えられます。今後は地政学的リスクの高まり等、想定されるリスク要因をふまえて、米国、オーストラリアの景気動向や金融政策等、オーストラリア社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、より慎重な銘柄選択を行っていく方針です。

債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れる方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

▶ AMP オーストラリアREITマザーファンド

オーストラリアREITは、短期的には新型コロナウイルスの収束までの期間が不透明なことの影響や長期金利の上昇懸念などを受けて市場の値動きが大きくなると見込まれるものの、足下では新型コロナウイルスワクチンの広範な接種による経済正常化期待を受けた投資家心理の回復などを背景に徐々に落ち着きを取り戻しつつあります。

不動産の用途別では、工業用のリートに関しては、オンライン・ショッピング市場の拡大期待などを背景に事業環境は良好であり、また、直近で発表された業績

ガイダンスも底堅い内容であったことなどから魅力的とみています。シドニーやメルボルンの住宅市場に関しては、新型コロナウイルスの影響を背景に今後数年間で同国への移民者数が減少すると予想される一方、政府の支援策などが住宅市場の落ち込みを軽減しており、足下の住宅価格は上昇しております。また、今後も住宅価格は回復していくと予想していることから魅力的にみています。一方で、店舗用不動産は足下の同国の消費者信頼感の回復や住宅市場の改善などを受けて、大型店舗用不動産の収益回復を見込んでおりますが、オンライン・ショッピング市場の台頭に伴い、実店舗の収益への下押し圧力が想定されることから慎重にみています。オフィスに関しては、テナン

ト企業との賃貸借契約が中長期であることや足下の新型コロナウイルスワクチンの普及は評価している一方、オフィス・スペースへのテナント需要が雇用情勢や働き方の変化などを受けて一部減退するとみており中立としています。引き続き、オーストラリアREITは、RBAによる金融緩和策などを背景とした低金利環境継続の恩恵や、相対的に高い配当利回りやディフェンシブ性に着目した資金流入の高まりなどが期待されます。不動産の用途別では、事業環境が良好な工業用不動産を保有する銘柄に注目しています。運用につきましては、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

2021年3月16日～2021年9月15日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	86	0.839	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(49)	(0.481)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.336)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.051	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(3)	(0.031)	
(投資信託証券)	(2)	(0.019)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
(c) その他費用	6	0.058	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.054)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	97	0.948	

期中の平均基準価額は、10,243円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

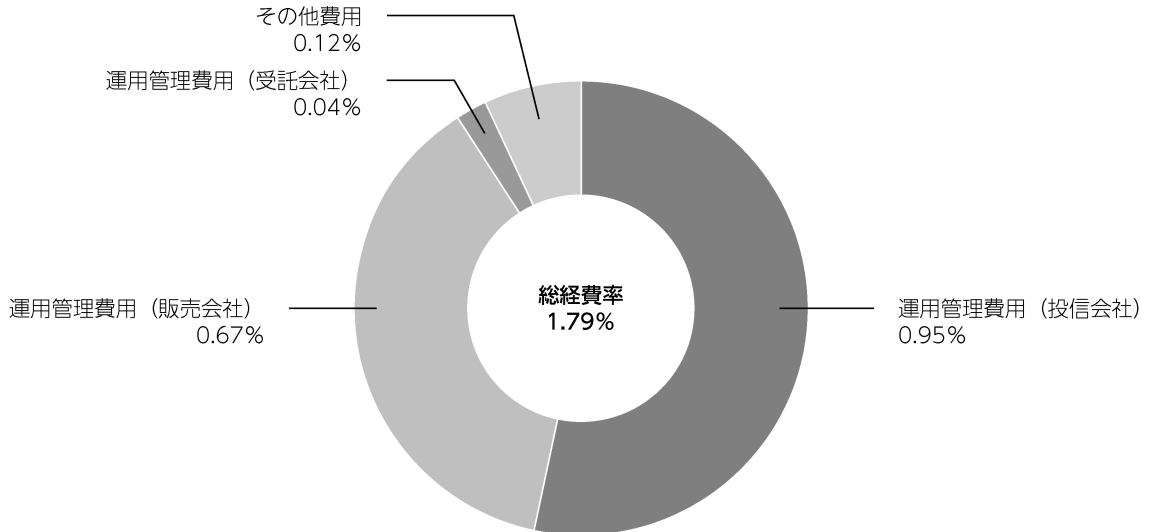
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.79%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2021年9月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	17,499	25,730	8,654	12,740
AMP オーストラリアREITマザーファンド	9,278	12,460	5,929	8,560
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	19,919	26,360	11,263	15,380

○株式売買比率

(2021年3月16日～2021年9月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,713,448千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,956,384千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.54

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2021年9月15日)

利害関係人との取引状況

<オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり> (年2回決算型) >

該当事項はございません。

<AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況 D	D/C	%
為替直物取引	百万円 7,139	百万円 53	% 0.7	百万円 8,071	百万円 56	% 0.7

平均保有割合 0.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<AMP オーストラリアREITマザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 23	百万円 -	% -	百万円 828	百万円 122	% 14.7

平均保有割合 0.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 123	百万円 -	% -	百万円 1,084	百万円 60	% 5.5

平均保有割合 0.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年3月16日～2021年9月15日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 -	百万円 10	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

○組入資産の明細

(2021年9月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		
	口 数	口 数	評 価 額
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	千口 9,490	千口 18,336	千円 26,380
AMP オーストラリアREITマザーファンド	5,417	8,766	12,944
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	11,071	19,727	26,484

○投資信託財産の構成

(2021年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	26,380	37.2
AMP オーストラリアREITマザーファンド	12,944	18.3
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	26,484	37.4
コール・ローン等、その他	5,029	7.1
投資信託財産総額	70,837	100.0

(注) AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (7,051,349千円) の投資信託財産総額 (7,181,873千円) に対する比率は98.2%です。

(注) AMP オーストラリアREITマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (2,571,770千円) の投資信託財産総額 (2,624,562千円) に対する比率は98.0%です。

(注) AMP オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (4,710,891千円) の投資信託財産総額 (4,745,679千円) に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.65円	1オーストラリアドル=80.20円	
-----------------	-------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	135,210,895
コール・ローン等	4,860,747
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド(評価額)	26,380,052
AMP オーストラリアREITマザーファンド(評価額)	12,944,918
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	26,484,582
未収入金	64,540,596
(B) 負債	66,688,653
未払金	65,714,438
未払収益分配金	358,832
未払解約金	298
未払信託報酬	613,667
未払利息	5
その他未払費用	1,413
(C) 純資産総額(A-B)	68,522,242
元本	65,242,267
次期繰越損益金	3,279,975
(D) 受益権総口数	65,242,267口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,503円

○損益の状況 (2021年3月16日～2021年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 145
受取利息	5
支払利息	△ 150
(B) 有価証券売買損益	4,641,592
売買益	10,455,041
売買損	△ 5,813,449
(C) 信託報酬等	△ 615,080
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,026,367
(E) 前期繰越損益金	△ 160,441
(F) 追加信託差損益金	△ 227,119
(配当等相当額)	(793,714)
(売買損益相当額)	(△ 1,020,833)
(G) 計(D+E+F)	3,638,807
(H) 収益分配金	△ 358,832
次期繰越損益金(G+H)	3,279,975
追加信託差損益金	△ 227,119
(配当等相当額)	(875,150)
(売買損益相当額)	(△ 1,102,269)
分配準備積立金	3,507,094

<注記事項>

①期首元本額	36,362,426円
期中追加設定元本額	57,203,840円
期中一部解約元本額	28,323,999円
また、1口当たり純資産額は、期末1.0503円で。	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2021年3月16日～ 2021年9月15日
費用控除後の配当等収益額	946,427円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	2,649,650円
収益調整金額	875,150円
分配準備積立金額	269,849円
当ファンドの分配対象収益額	4,741,076円
1万口当たり収益分配対象額	726円
1万口当たり分配金額	55円
収益分配金金額	358,832円

- ③「AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
「AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
「AMP オーストラリアREITマザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金 (税込み)	55円
-----------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2021年9月15日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

《第8期》決算日2020年10月7日

〔計算期間：2019年10月8日～2020年10月7日〕

「AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」は、10月7日に第8期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、国債等に投資する場合があります。 オーストラリアドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にオーストラリアドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。 債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %	純 資 産 額 百万円
		期 騰 落	中 率 %			
4期(2016年10月7日)	11,325		△ 3.7	91.4	△0.7	5,892
5期(2017年10月10日)	13,013		14.9	96.8	△8.5	5,308
6期(2018年10月9日)	12,344		△ 5.1	95.6	△3.8	8,179
7期(2019年10月7日)	12,226		△ 1.0	94.7	△1.5	9,525
8期(2020年10月7日)	12,985		6.2	95.6	0.9	8,444

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2019年10月 7 日	12,226	—	94.7	△1.5
10月末	12,670	3.6	95.8	△3.5
11月末	12,569	2.8	95.4	△0.5
12月末	12,865	5.2	96.0	△2.8
2020年1月末	12,507	2.3	95.3	△4.7
2月末	12,337	0.9	96.0	△4.6
3月末	11,052	△9.6	89.8	1.3
4月末	11,655	△4.7	93.4	△3.2
5月末	12,039	△1.5	92.3	△4.3
6月末	12,564	2.8	93.7	△4.9
7月末	12,929	5.8	94.3	△3.9
8月末	13,312	8.9	95.2	△2.6
9月末	13,067	6.9	94.6	△0.7
(期 末) 2020年10月 7 日	12,985	6.2	95.6	0.9

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・商品市況の上昇等を受けて豪ドルが対円で上昇したこと。
- ・豪州社債市況が上昇したこと等。

●投資環境について

◎債券市況

- ・豪州社債市況は上昇しました。
- ・債券市場では、豪州の森林火災による景気減速懸念や新型コロナウイルスの世界的感染拡大等を受けて豪州金利が小幅低下したことや債券利子収入を享受したこと等がプラス要因となり、当期を通じてみると同市場は上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で上昇しました。
- ・商品市況が上昇したことや、世界の株式市況の上昇を背景に投資家心理が改善したこと等から、豪ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。
- ・また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。
- ・デュレーションについては、2020年9月末において市場平均と比べて長めとしました。また、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れました。

○今後の運用方針

- ・豪州では、新型コロナウイルスの影響に関する先行き不透明感が未だ残る中、ハイ・イールド市場を含めた社債市場全体で見ると、2020年後半にかけて、デフォルト（債務不履行）率が上昇する可能性がある点には注意を要すると考えます。しかし、豪州政府の大規模な財政政策や豪州準備銀行（RBA）による追加金融緩和政策は、社債市場にとってサポート要因になるとみています。今後は地政学的リスクの高まり等、想定されるリスク要因をふまえて、米国、豪州の景気動向や金融政策等、豪州社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、より慎重な銘柄選択を行っていく方針です。
- ・債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れる方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年10月8日～2020年10月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.008 (0.008)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.033 (0.033) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	5	0.041	
期中の平均基準価額は、12,421円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月8日～2020年10月7日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 2,981	千アメリカドル 3,040
		特殊債券	千オーストラリアドル 496	千オーストラリアドル -
		社債券	41,582	57,511

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 債券先物取引	百万円 8,883	百万円 9,198	百万円 10,703	百万円 11,280

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月8日～2020年10月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 27,357	百万円 689	% 2.5	百万円 28,950	百万円 1,300	% 4.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年10月7日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
アメリカ	千アメリカドル 9,465	千アメリカドル 9,835	千円 1,039,454	% 12.3	% —	% 4.7	% 3.7	% 3.9
オーストラリア	千オーストラリアドル 89,533	千オーストラリアドル 93,702	7,033,285	83.3	0.3	48.1	25.6	9.6
合 計	—	—	8,072,740	95.6	0.3	52.9	29.2	13.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利 率	当 期 末 額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	社債券					
	3.65 WOODSIDE FI 250305	3.65	925	981	103,681	2025/3/5
	3.9 SYDNEY AIRP 230322	3.9	730	767	81,138	2023/3/22
	4.2 APT PIPELIN 250323	4.2	400	441	46,614	2025/3/23
	4.375 SCENTRE GRO 300528	4.375	340	380	40,173	2030/5/28
	4.5 TRANSURBAN QL 280419	4.5	200	220	23,309	2028/4/19
	4.75 PACIFIC NATI 280322	4.75	600	627	66,283	2028/3/22
	4.875 MACQUARIE B 250610	4.875	650	731	77,294	2025/6/10
	6 GOODMAN US FIN 220322	6.0	300	319	33,722	2022/3/22
	FRN SCENTRE GRO 800924	4.75	1,000	995	105,183	2080/9/24
	VAR AUSNET SERV 760317	5.75	1,500	1,547	163,513	2076/3/17
	VAR BHP BILLITON 751019	6.25	2,820	2,824	298,537	2020/10/19
小 計					1,039,454	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	特殊債券	2.2	500	525	39,443	2030/5/15
	社債券					
	1.6 OPTUS FINANCE 250701	1.6	500	512	38,497	2025/7/1
	1.814 AUSGRID FIN 270205	1.814	1,300	1,289	96,815	2027/2/5
	1.843 SGSP AUSTRAL 280915	1.843	500	503	37,759	2028/9/15
	2.2 GTA FINANCE C 270826	2.2	500	505	37,943	2027/8/26
	2.25 MACQUARIE UN 300522	2.25	500	509	38,267	2030/5/22
	2.3 QPH FINANCE C 270729	2.3	500	505	37,978	2027/7/29
	2.317 CHARTER HAL 300925	2.317	500	502	37,752	2030/9/25
	2.45 LONSDALE FIN 261120	2.45	500	513	38,549	2026/11/20
	2.5 OPTUS FINANCE 300701	2.5	500	520	39,104	2030/7/1
	2.525 GPT WHL OFF 260112	2.525	1,000	1,021	76,688	2026/1/12
	2.6 AUSNET SERV 290731	2.6	1,000	1,054	79,131	2029/7/31
	2.65 ORIGIN ENERG 271111	2.65	500	512	38,436	2027/11/11
	2.7 WSO FINANCE P 300628	2.7	500	514	38,639	2030/6/28
	2.8 WOOLWORTHS GR 300520	2.8	600	637	47,830	2030/5/20
	2.849 GPT WHL OFF 320220	2.849	1,000	987	74,157	2032/2/20
	2.85 QPH FINANCE 310129	2.85	500	509	38,241	2031/1/29
	2.9 AURIZON NETWO 300902	2.9	1,000	1,005	75,448	2030/9/2
	2.95 QANTAS AIRWA 291127	2.95	500	434	32,624	2029/11/27
	3 DEXUS FINANCE P 320203	3.0	1,700	1,709	128,350	2032/2/3
	3 NATIONAL A 230316	3.0	1,500	1,596	119,840	2023/3/16
	3.1 AUST & NZ B 240208	3.1	1,000	1,085	81,462	2024/2/8
	3.1 BRISBANE AIRP 260630	3.1	500	496	37,271	2026/6/30
	3.2 COMMONWEALT 230816	3.2	2,500	2,694	202,279	2023/8/16
	3.2 WESTPAC BAN 230306	3.2	500	533	40,058	2023/3/6
	3.25 COMMONWEALT 220117	3.25	500	518	38,955	2022/1/17
	3.25 COMMONWEALT 230425	3.25	1,500	1,608	120,714	2023/4/25
	3.4 CONNECTEAST F 260325	3.4	750	802	60,263	2026/3/25
	3.5 ETSU UTILITIE 240829	3.5	1,200	1,301	97,715	2024/8/29
	3.5 UNITED ENER 230912	3.5	500	531	39,869	2023/9/12
	3.591 GPT WHL OFF 231107	3.591	600	632	47,471	2023/11/7

AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

銘柄	銘柄	当期末				償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	社債券					
	3.642 ENERGY PART 241211	3.642	500	544	40,864	2024/12/11
	3.6725 GPT WHL OF 240919	3.6725	600	642	48,229	2024/9/19
	3.7 ASCIANO FIN 290924	3.7	860	839	63,011	2029/9/24
	3.7 AUSTRALIAN CA 270803	3.7	500	563	42,294	2027/8/3
	3.7 DOWNER GROUP 260429	3.7	500	513	38,545	2026/4/29
	3.75 AUSTRALIAN P 240522	3.75	500	502	37,705	2024/5/22
	3.75 QPH FINANCE 230607	3.75	1,500	1,574	118,179	2023/6/7
	3.75 SGSP AUSTRAL 240927	3.75	1,500	1,658	124,474	2024/9/27
	3.75 TRANSURBAN Q 231012	3.75	1,100	1,161	87,212	2023/10/12
	3.85 UNITED ENERG 241023	3.85	3,100	3,441	258,321	2024/10/23
	3.9 BRISBANE AIRP 250424	3.9	1,250	1,300	97,632	2025/4/24
	3.9 LONSDALE FINA 251015	3.9	1,600	1,759	132,033	2025/10/15
	3.9 SHOPPING CT 240607	3.9	1,500	1,602	120,310	2024/6/7
	4 AURIZON NETWORK 240621	4.0	1,000	1,081	81,154	2024/6/21
	4 CALTEX AUSTRALI 250417	4.0	1,300	1,404	105,410	2025/4/17
	4 TELSTRA COR 220916	4.0	650	690	51,806	2022/9/16
	4.2 AUSNET SERV 280821	4.2	500	592	44,468	2028/8/21
	4.225 DBNGP FINAN 250528	4.225	1,000	1,109	83,267	2025/5/28
	4.25 DEXUS WHOLE 220616	4.25	700	722	54,243	2022/6/16
	4.3 INCITEC PIVOT 260318	4.3	1,900	2,040	153,148	2026/3/18
	4.4 AUSNET SERV 270816	4.4	700	832	62,457	2027/8/16
	4.5 BRISBANE AIRP 301230	4.5	1,000	1,024	76,874	2030/12/30
	4.5 DOWNER GROUP 220311	4.5	4,900	5,034	377,882	2022/3/11
	4.5 WSO FINANCE P 270331	4.5	1,200	1,390	104,333	2027/3/31
	4.75 QANTAS AIRWA 261012	4.75	500	517	38,816	2026/10/12
	5 NATIONAL AUSTR 240311	5.0	1,000	1,151	86,435	2024/3/11
	5.25 PACIFIC NATI 250519	5.25	1,000	1,089	81,800	2025/5/19
	5.25 QANTAS AIRWA 300909	5.25	1,000	1,016	76,267	2030/9/9
	7.5 QANTAS AIRWAY 210611	7.5	1,500	1,553	116,636	2021/6/11
	7.75 QANTAS AIRWA 220519	7.75	2,100	2,267	170,167	2022/5/19
	FRN AUSNET SERV 801006	3.1904	1,200	1,201	90,196	2080/10/6
	FRN AUST & NZ B 290726	2.1021	1,900	1,916	143,864	2029/7/26
	FRN AUST & NZ B 310226	1.945	2,200	2,198	165,048	2031/2/26
	FRN COMMONWEALT 300910	1.8911	2,500	2,502	187,825	2030/9/10
	FRN CROWN LTD PLA 700423	4.09	413	383	28,794	2075/4/23
	FRN MACQUARIE B 300528	2.99	1,200	1,239	93,055	2030/5/28
	FRN NATIONAL A 260921	2.49	500	506	38,005	2026/9/21
	FRN NATIONAL A 290517	2.25	2,000	2,061	154,767	2029/5/17
	FRN NATIONAL A 311118	3.225	550	577	43,329	2031/11/18
	FRN SUNCORP-MET 281205	2.24	1,600	1,610	120,865	2028/12/5
	FRN SUNCORP-MET 351201	2.3416	900	899	67,553	2035/12/1
	FRN SUNCORP-MET 421006	3.2904	1,000	1,025	76,965	2042/10/6
	FRN WESTPAC BAN 280614	4.8	900	945	70,975	2028/6/14
	FRN WESTPAC BAN 290816	4.334	1,800	1,900	142,633	2029/8/16
	FRN WESTPAC BAN 290827	2.0717	900	907	68,135	2029/8/27

銘柄	当 期 末					償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
社債券	VAR AUST & NZ B 270513	4.75	3,900	4,043	303,497	2027/5/13
	VAR WESTPAC BAN 270311	4.5	3,960	4,079	306,222	2027/3/11
小 計					7,033,285	
合 計					8,072,740	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	別	当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
		百万円	百万円
外 国	債券先物取引		
	NOTE5Y	—	199
	NOTE2Y	—	70
	NOTE10Y	—	146
	ULTR10Y	—	117
	AUST10Y	1,631	—
	AUST3Y	—	1,021

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年10月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円	%
	8,072,740	94.6
コール・ローン等、その他	462,526	5.4
投資信託財産総額	8,535,266	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (8,449,554千円) の投資信託財産総額 (8,535,266千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.68円	1 オーストラリアドル=75.06円	
------------------	--------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年10月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,523,555,962
コール・ローン等	204,604,021
公社債(評価額)	8,072,740,822
未収入金	2,005,480,452
未収利息	73,556,766
前払費用	313,873
差入委託証拠金	166,860,028
(B) 負債	2,079,347,810
未払金	1,994,967,789
未払解約金	84,380,000
未払利息	21
(C) 純資産総額(A-B)	8,444,208,152
元本	6,503,053,588
次期繰越損益金	1,941,154,564
(D) 受益権総口数	6,503,053,588口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,985円

<注記事項>

- ①期首元本額 7,790,957,508円
 期中追加設定元本額 1,313,476,545円
 期中一部解約元本額 2,601,380,465円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2985円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	4,457,912,303円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)	2,036,242,266円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	8,899,019円
合計	6,503,053,588円

○損益の状況 (2019年10月8日～2020年10月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	329,105,194
受取利息	330,865,821
その他収益金	10,773
支払利息	△ 1,771,400
(B) 有価証券売買損益	192,753,891
売買益	714,356,066
売買損	△ 521,602,175
(C) 先物取引等取引損益	△ 41,125,157
取引益	106,184,258
取引損	△ 147,309,415
(D) 保管費用等	△ 2,887,641
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	477,846,287
(F) 前期繰越損益金	1,734,604,356
(G) 追加信託差損益金	261,483,457
(H) 解約差損益金	△ 532,779,536
(I) 計(E+F+G+H)	1,941,154,564
次期繰越損益金(I)	1,941,154,564

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド

《第7期》決算日2021年9月15日

[計算期間：2021年3月16日～2021年9月15日]

「AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド」は、9月15日に第7期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの株式に投資を行います。 株式等への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当利回り、割安度、業績および経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。 株式等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	率	S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)	期騰落率			
3期(2019年9月17日)	円	%	10,910	%	%	%	百万円 6,538
4期(2020年3月16日)	10,289	△2.1	8,185	△25.0	97.5	—	4,202
5期(2020年9月15日)	7,402	△28.1	10,318	26.1	96.6	—	5,509
6期(2021年3月15日)	9,260	25.1	13,224	28.2	97.4	—	5,412
7期(2021年9月15日)	12,762	37.8	14,045	6.2	96.5	—	4,745

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S & P / A S X 200指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。S & P / A S X 200指数(配当込み、円換算ベース)とは、S & P / A S X 200指数(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S & P / A S X 200はS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していない点にご留意ください。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S & P / A S X 200指数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス)	騰 落 率			
(期 首) 2021年 3月15日	円	%		%	%	%
	12,762	—	13,224	—	97.4	—
3月 末	12,884	1.0	13,125	△0.7	97.7	—
4月 末	13,618	6.7	13,861	4.8	98.1	—
5月 末	13,731	7.6	14,079	6.5	98.3	—
6月 末	13,449	5.4	14,091	6.6	96.1	—
7月 末	13,460	5.5	13,928	5.3	98.3	—
8月 末	13,400	5.0	14,051	6.3	96.4	—
(期 末) 2021年 9月15日	13,425	5.2	14,045	6.2	96.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

・保有銘柄のIGO LTDやMINERAL RESOURCES LTDなどの株価が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

・豪ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

- ・オーストラリア株式市況は上昇しました。
- ・世界経済の回復期待やオーストラリア準備銀行（RBA）の低金利政策などを背景に上昇しました。また、オーストラリアの主要経済指標の一部が堅調に推移したことや一部の主要銘柄の決算発表が好調であったことなどもプラスとなりました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で下落しました。
- ・2021年5月まで高値で推移していたものの、6月以降は鉄鉱石の下落や中国リスクへの警戒感などから、豪ドルは軟調に推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。
- ・銘柄入替では、割安であり、中長期的に強固なキャッシュフローの成長が期待できると判断したことなどからWOOLWORTHS GROUP LTDなどを新規に組み入れました。一方で、利益を確定させるためARISTOCRAT LEISURE LTDなどを全株売却しました。

○今後の運用方針

- ・引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年3月16日～2021年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.079 (0.079)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	11 (11)	0.083 (0.083)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	22	0.162	
期中の平均基準価額は、13,439円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2021年9月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 119,973 (28,474)	千オーストラリアドル 10,996 (841)	百株 95,677 (28,047)	千オーストラリアドル 21,575 (841)

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年3月16日～2021年9月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,713,448千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,956,384千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.54

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2021年9月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 123	百万円 —	% —	百万円 1,084	百万円 60	% 5.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2021年9月15日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
BHP GROUP LTD	795	667	2,784	223,288	素材
CSL LTD	96	80	2,422	194,314	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AUST AND NZ BANKING GROUP	1,039	871	2,416	193,783	銀行
QBE INSURANCE GROUP LTD	1,103	925	1,107	88,838	保険
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	283	238	2,418	193,989	銀行
WESTPAC BANKING CORP	1,619	1,195	3,076	246,700	銀行
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	652	547	1,545	123,947	銀行
BRAMBLES LTD	523	438	493	39,567	商業・専門サービス
WOOLWORTHS GROUP LTD	—	405	1,592	127,749	食品・生活必需品小売り
TELSTRA CORP LTD	5,964	5,002	1,981	158,889	電気通信サービス
ARISTOCRAT LEISURE LTD	539	—	—	—	消費者サービス
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	2,592	2,174	1,104	88,608	小売
ORIGIN ENERGY LTD	2,115	1,774	812	65,178	公益事業
OIL SEARCH LTD	1,946	—	—	—	エネルギー
CROWN RESORTS LTD	2,377	1,644	1,584	127,107	消費者サービス
METCASH LTD	3,541	2,970	1,176	94,349	食品・生活必需品小売り
AURIZON HOLDINGS LTD	6,296	5,281	2,038	163,490	運輸
TREASURY WINE ESTATES LTD	—	733	900	72,239	食品・飲料・タバコ
APA GROUP	1,401	1,175	1,065	85,490	公益事業
RAMSAY HEALTH CARE LTD	305	256	1,742	139,733	ヘルスケア機器・サービス
ANSELL LTD	84	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
HEALIUS LTD	3,300	2,768	1,342	107,667	ヘルスケア機器・サービス
BANK OF QUEENSLAND LTD	1,443	1,210	1,116	89,522	銀行
ORORA LTD	2,767	—	—	—	素材
IGO LTD	2,783	1,965	1,924	154,348	素材
SOUTH32 LTD	5,619	4,713	1,607	128,915	素材
VIRGIN MONEY UK PLC - CDI	11,054	6,636	2,455	196,943	銀行
EVOLUTION MINING LTD	2,577	2,682	1,054	84,555	素材
ESTIA HEALTH LTD	8,736	8,595	1,994	159,925	ヘルスケア機器・サービス
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	9,938	10,268	2,197	176,235	銀行
REGIS HEALTHCARE LTD	5,474	8,358	1,830	146,814	ヘルスケア機器・サービス
GALAXY RESOURCES LTD	1,703	—	—	—	素材
SERVICE STREAM LTD	—	7,245	608	48,808	資本財
COLES GROUP LTD	768	644	1,113	89,318	食品・生活必需品小売り
AUB GROUP LTD	788	661	1,551	124,405	保険
MINERAL RESOURCES LTD	455	323	1,698	136,258	素材
BEACH ENERGY LTD	4,700	7,225	805	64,613	エネルギー
STRIKE ENERGY LTD	20,660	10,020	290	23,306	エネルギー
IOOF HOLDINGS LTD	951	—	—	—	各種金融
SUPER RETAIL GROUP LTD	1,217	1,021	1,224	98,194	小売
PERENTI GLOBAL LTD	4,256	3,570	330	26,488	素材
BRICKWORKS LTD	687	614	1,595	127,941	素材
SYRAH RESOURCES LTD	—	8,036	1,096	87,975	素材
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALI	—	405	266	21,383	食品・生活必需品小売り

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(オーストラリア) WARREGO ENERGY LTD	百株 —	百株 34,538	千オーストラリアドル 742	千円 59,554	エネルギー
合 計	株 数 ・ 金 額 123,167	株 数 147,891	57,112	4,580,443	
	銘 柄 数 < 比 率 >	39	39	—	<96.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2021年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 4,580,443	% 96.5
コール・ローン等、その他	165,236	3.5
投資信託財産総額	4,745,679	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（4,710,891千円）の投資信託財産総額（4,745,679千円）に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=80.20円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,745,679,732
コール・ローン等	111,138,050
株式(評価額)	4,580,443,735
未収配当金	54,097,947
(B) 負債	36
未払利息	36
(C) 純資産総額(A-B)	4,745,679,696
元本	3,534,995,899
次期繰越損益金	1,210,683,797
(D) 受益権総口数	3,534,995,899口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,425円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,240,773,186円
 期中追加設定元本額 129,302,777円
 期中一部解約元本額 835,080,064円
 また、1口当たり純資産額は、期末13,425円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	3,515,268,091円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	19,727,808円
合計	3,534,995,899円

○損益の状況 (2021年3月16日~2021年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	92,289,739
受取配当金	92,292,153
受取利息	37
支払利息	△ 2,451
(B) 有価証券売買損益	194,384,272
売買益	597,541,181
売買損	△ 403,156,909
(C) 保管費用等	△ 4,185,635
(D) 当期損益金(A+B+C)	282,488,376
(E) 前期繰越損益金	1,171,298,134
(F) 追加信託差損益金	44,207,223
(G) 解約差損益金	△ 287,309,936
(H) 計(D+E+F+G)	1,210,683,797
次期繰越損益金(H)	1,210,683,797

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

AMP オーストラリアREITマザーファンド

《第13期》決算日2021年9月15日

[計算期間：2021年3月16日～2021年9月15日]

「AMP オーストラリアREITマザーファンド」は、9月15日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資を行います。不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割当度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		投資信託証券組入比	純資産総額
	円	騰落率	S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)	騰落率		
9期(2019年9月17日)	12,039	△ 1.1	11,931.21	△ 0.6	96.5	3,576
10期(2020年3月16日)	9,654	△19.8	9,259.83	△22.4	98.0	2,163
11期(2020年9月15日)	10,600	9.8	10,301.68	11.3	97.1	2,959
12期(2021年3月15日)	12,498	17.9	12,448.96	20.8	97.6	2,930
13期(2021年9月15日)	14,766	18.1	14,326.57	15.1	98.6	2,586

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S&P/ASX 200 A-REIT Index (配 当 込 み 、 円 換 算 ベー ス)		投 資 信 託 券 率 組 入 比
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2021年 3月15日	円 12,498	% —	円 12,448.96	% —	% 97.6
3月末	12,865	2.9	12,739.31	2.3	98.4
4月末	13,606	8.9	13,430.46	7.9	97.2
5月末	13,717	9.8	13,534.37	8.7	96.8
6月末	14,290	14.3	14,110.77	13.3	97.6
7月末	13,869	11.0	13,523.52	8.6	96.5
8月末	14,561	16.5	14,274.43	14.7	97.7
(期 末) 2021年 9月15日	円 14,766	% 18.1	円 14,326.57	% 15.1	% 98.6

(注) 騰落率は期首比。

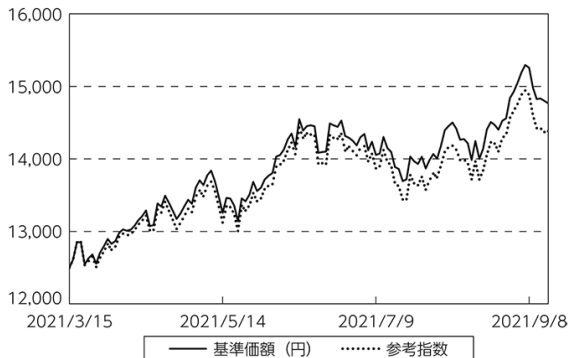
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ18.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・ファンドで保有する一部の銘柄がローカルベースで上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。保有銘柄の中では、「GOODMAN GROUP」(工業用)や「CHARTER HALL GROUP」(各種・分散投資型)などが上昇しました。

(下落要因)

- ・豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎オーストラリアREIT市況

- ・オーストラリアREIT市況は、上昇しました。
- ・新型コロナウイルス危機後の回復が株対比で緩慢だったこともあり、投資家心理が引き続き良好な中で当期間のリートは株式を上回る上昇となりました。不動産用途別では、店舗用の上昇が抑えられた一方、工業用は堅調に推移しました。ワクチン接種は進んでいるものの、新型コロナウイルスの変異株などによる感染拡大懸念が再び意識され、回復が期待された店舗用の上値を抑え、成長が期待される工業用が選好され

る展開となりました。

◎為替市況

- ・豪ドルは、対円で下落しました。
- ・2021年5月まで高値で推移していたものの、6月以降は鉄鉱石の下落や中国リスクへの警戒感などから、豪ドルは軟調に推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・投資するREITについては、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される工業用の優良な物件を保有する銘柄に注目した運用を行いました。
- ・当期は、工業用や各種・分散投資型などの投資比率を引き上げた一方、店舗用などの投資比率を引き下げました。

○今後の運用方針

- ・オーストラリアREITは、短期的には新型コロナウイルスの収束までの期間が不透明なことの影響や長期金利の上昇懸念などを受けて市場の値動きが大きくなると見込まれるものの、足下では新型コロナウイルスワクチンの広範な接種による経済正常化期待を受けた投資家心理の回復などを背景に徐々に落ち着きを取り戻しつつあります。
- ・不動産の用途別では、工業用のリートに関しては、オンライン・ショッピング市場の拡大期待などを背景に事業環境は良好であり、また、直近で発表された業績ガイダンスも底堅い内容で

あったことなどから魅力的とみています。シドニーやメルボルンの住宅市場に関しては、新型コロナウイルスの影響を背景に今後数年間で同国への移民者数が減少すると予想される一方、政府の支援策などが住宅市場の落ち込みを軽減しており、足下の住宅価格は上昇しております。また、今後も住宅価格は回復していくと予想していることから魅力的にみています。一方で、店舗用不動産は足下の同国の消費者信頼感の回復や住宅市場の改善などを受けて、大型店舗用不動産の収益回復を見込んでおりますが、オンライン・ショッピング市場の台頭に伴い、実店舗の収益への下押し圧力が想定されることから慎重にみています。オフィスに関しては、テナント企業との賃貸借契約が中長期であることや足下の新型コロナウイルスワクチンの普及は評価している一方、オフィス・スペースへのテナント需要が雇用情勢や働き方の変化などを受けて一部減退するとみており中立としています。引き続き、オーストラリアREITは、豪準備銀行（RBA）による金融緩和策などを背景とした低金利環境継続の恩恵や、相対的に高い配当利回りやディフェンシブ性に着目した資金流入の高まりなどが期待されます。不動産の用途別では、事業環境が良好な工業用不動産を保有する銘柄に注目しています。

- ・運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年3月16日～2021年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 13 (13)	% 0.097 (0.097)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	10 (8) (2)	0.070 (0.057) (0.013)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	23	0.167	
期中の平均基準価額は、13,872円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2021年9月15日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル
VICINITY CENTRES	—	—	438	687
ABACUS PROPERTY GROUP	0.938	3	81	247
INGENIA COMMUNITIES GROUP	2	14	88	495
	(2)	(10)		
CHARTER HALL GROUP	8	121	56	788
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	38	103	195	486
NATIONAL STORAGE REIT	53	109	179	395
	(10)	(22)		
SCENTRE GROUP	29	84	595	1,626
ARENA REIT	9	38	15	57
	(0.926)	(2)		
AVENTUS GROUP	0.348	1	63	198
	(2)	(7)		
WAYPOINT REIT	—	—	96	237
CHARTER HALL LONG WALE REIT	68	362	90	437
RURAL FUNDS GROUP	57	151	—	—
NATIONAL STORAGE REIT	74	148	—	—
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	0.448	1	155	541
HOME CONSORTIUM	147	742	16	122
CENTURIA CAPITAL GROUP	159	426	57	174
HOMECO DAILY NEEDS REIT	266	345	19	32
	(32)	(46)		
DEXUS/AU	—	—	89	944
	(305)	(2,849)		
HOMECO DAILY NEEDS REIT	32	46	—	—
			(32)	(46)
HEALTHCO REIT	120	240	—	—
HEALTHCO REIT	31	70	—	—
HOMECO DAILY NEEDS REIT	29	47	—	—
GPT GROUP	19	97	132	622
MIRVAC GROUP	104	298	227	621
STOCKLAND	3	17	268	1,217
DEXUS	65	640	44	457
	(△ 305)	(△2,849)		
BWP TRUST	—	—	44	181
CHARTER HALL RETAIL REIT	—	—	74	274
GOODMAN GROUP	14	295	131	2,605
小計	1,338	4,409	3,167	13,456
	(47)	(89)	(32)	(46)

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2021年9月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 23	百万円 —	% —	百万円 828	百万円 122	% 14.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年9月15日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%	
VICINITY CENTRES	438	—	—	—	—	
ABACUS PROPERTY GROUP	229	148	534	42,896	1.7	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	203	119	762	61,119	2.4	
CHARTER HALL GROUP	207	159	2,809	225,359	8.7	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	433	276	747	59,972	2.3	
NATIONAL STORAGE REIT	469	427	1,009	80,960	3.1	
SCENTRE GROUP	1,511	945	2,750	220,554	8.5	
ARENA REIT	78	73	306	24,609	1.0	
AVENTUS GROUP	94	33	111	8,945	0.3	
WAYPOINT REIT	96	—	—	—	—	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	103	82	435	34,895	1.3	
RURAL FUNDS GROUP	—	57	152	12,236	0.5	
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	223	67	264	21,230	0.8	
HOME CONSORTIUM	—	130	1,004	80,575	3.1	
CENTURIA CAPITAL GROUP	140	242	834	66,905	2.6	
HOMEKO DAILY NEEDS REIT	—	279	446	35,803	1.4	
DEXUS/AU	—	215	2,323	186,358	7.2	
HEALTHCO REIT	—	151	343	27,522	1.1	
HOMEKO DAILY NEEDS REIT	—	29	47	3,774	0.1	
GPT GROUP	365	253	1,255	100,658	3.9	
MIRVAC GROUP	1,147	1,024	3,114	249,790	9.7	
STOCKLAND	859	594	2,699	216,462	8.4	
DEXUS	284	—	—	—	—	
BWP TRUST	44	—	—	—	—	
CHARTER HALL RETAIL REIT	74	—	—	—	—	
GOODMAN GROUP	554	437	9,839	789,133	30.5	
計	口 数 ・ 金 額	7,562	5,749	31,792	2,549,764	
	銘柄 数 < 比 率 >	20	21	—	< 98.6% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資信託証券の内容

●GOODMAN GROUP（期末組入比率30.5%）

① 信託の概要

グッドマンは、商業用および産業用不動産の所有、開発、運営を行うリートで、グローバルに倉庫、大規模物流施設やオフィスなどを展開しています。S & P / A S X 200 A - R E I T I n d e xにおいて約27.5%を占めます。

② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.goodman.com/>

○投資信託財産の構成

(2021年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 2,549,764	% 97.2
コール・ローン等、その他	74,798	2.8
投資信託財産総額	2,624,562	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (2,571,770千円) の投資信託財産総額 (2,624,562千円) に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=80.20円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,624,562,852 円
コール・ローン等	50,126,042
投資証券(評価額)	2,549,764,810
未収入金	15,454,979
未収配当金	9,217,021
(B) 負債	38,277,006
未払金	23,936,976
未払解約金	14,340,000
未払利息	30
(C) 純資産総額(A-B)	2,586,285,846
元本	1,751,509,363
次期繰越損益金	834,776,483
(D) 受益権総口数	1,751,509,363口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,766円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,344,415,564円
 期中追加設定元本額 38,498,767円
 期中一部解約元本額 631,404,968円
 また、1口当たり純資産額は、期末14,766円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	1,538,599,290円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	204,143,367円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	8,766,706円
合計	1,751,509,363円

○損益の状況 (2021年3月16日~2021年9月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	37,377,204 円
受取配当金	37,379,676
受取利息	39
支払利息	△ 2,511
(B) 有価証券売買損益	438,664,667
売買益	578,261,288
売買損	△139,596,621
(C) 保管費用等	△ 1,939,041
(D) 当期損益金(A+B+C)	474,102,830
(E) 前期繰越損益金	585,707,452
(F) 追加信託差損益金	13,201,233
(G) 解約差損益金	△238,235,032
(H) 計(D+E+F+G)	834,776,483
次期繰越損益金(H)	834,776,483

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。